



かえで通信

ご挨拶

松の内は過ぎておりますが、皆さま明けましておめでとうございます。

旧年中は格別なご高配を賜り、まことに有難く厚く御礼申し上げます。本年も初心を忘れることなく、地域での活動、そして議員の職務に精進して参りますので、変わらぬご指導とご鞭撻のほどを何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、平成最後の年となりました。私は今現在48歳ですので、人生の半分以上を平成時代で過ごしたことになります。多くの出会いと大切な人との別れがありました。社会人として仕事につき、起業、結婚など、人として大きく成長する機会やたくさんの愛を頂き、この平成という時代を感慨深く思うところです。

そして皆さまの負託を頂き、議員として6年が経とうとしております。多くの経験を積むことは職務を遂行する上で必要不可欠であると考えます。しかしながら、経験は、慣れや怠慢という形で現れることもあると思います。どのような仕事であっても常に向上心と仕事に対する誇りを持ち、初心を忘れることなく精進していくことはとても大切です。今後は、地方議員の必要性が問われる時代がくるかもしれません。子どもたちに誇れる仕事であるよう精進して参ります。

最後に、今年の指針となる私の一文字は、「健」です。心身ともに健康であることは、とても大切です。私自身が健康であり職務に専念することは当然ですが、地域全体が健やかであるように取り組んで参ります。少子高齢化に伴う人口減少時代において、地域コミュニティは益々重要になって参ります。健全かつ活発なコミュニティの源は、子ども、子育て世代、そして人生の先輩である高齢者の皆さまが健康であることが大切です。

フレイル予防や子どもたちの食生活、年齢に応じた運動や学習、子育てをしている親の生活習慣など、「心身ともに健康」という観点を今年は念頭に置きながら、地域の活動、議員の職務に精進して参ります。

皆さま、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

各務原市議会議員 大竹 大輔

市政を問う！平成30年12月議会では次の一般質問をしました！

フレイル予防について

本市のフレイル予防の取組みは。（フレイルチェックなど）？

一般的に言われているフレイルチェックは実施していないが、本年度から介護予防教室の初回と最終回に、タブレットを使った「認知症機能検査」や「嗅覚識別テスト」、「健康チェックアンケート」を行い、教室の効果検証事業を実施しています。この検証事業は、介護予防教室の効果を検証するとともに、受講者が取り組んだ結果を自ら確認することを目的としており、今後は、他市で実施しているフレイルチェックを参考にして参ります。また、来年度は、「簡易運動機能検査」を追加し、より多角的な視点で自身のフレイル状態を確認できるようにし、この検証結果をもとに、本市独自のフレイルチェックを行っていく予定です。（答弁者 健康福祉部長）



地域住民が主体となるフレイル予防についての考えは？

住民が主体となるフレイル予防は、全国の市町村でも導入が始まっており、特に元気な高齢者の方々は「フレイルチェックサポーター」として運営にも参加しています。来年度以降に地域住民が主体となるフレイル予防を実施したいと考えており、基本となる運動・栄養・社会参加に、認知症予防の観点を加えた「各務原市版フレイルチェック」を実施する予定。平成31年度は、地域住民、介護事業者、理学療法士などで構成される「（仮称）フレイルチェック検討委員会」を立ち上げ、様々な意見を取り入れながら、チェック項目やサポーターの養成方法、地域への展開等について検討して参ります。誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現に向け、地域住民が主体となったフレイル予防を推進することにより、健康長寿の延伸に繋げて参ります。（答弁者 健康福祉部長）